

生誕百年・没後十年特別展

桂米朝 噺家の姿



写真：1988年4月24日 京都府立文化芸術会館（宮崎金次郎 撮影）

写真・絵画・ゆかりの資料で振り返る、落語家・桂米朝の回顧展を尼崎で開催

会期 | 2025年2月8日(土)～3月23日(日)

10:00～17:00 (入場は16:30まで)

休館日 | 火曜日 (ただし2月11日(火)・(祝)は開館、2月12日(水)は休館)

会場 | 尼崎市総合文化センター美術ホール [4階] 尼崎市昭和通2-7-16

入場無料

主催 | 公益財団法人尼崎市文化振興財団・尼崎市 協力 | 株式会社米朝事務所 後援 | 尼崎市教育委員会・兵庫県・兵庫県教育委員会
問合せ先 | 公益財団法人尼崎市文化振興財団 TEL: 06-6487-0806 FAX: 06-6482-3503 WEB: www.archaic.or.jp



生誕百年・没後十年特別展 **桂米朝 噺家の姿**

桂米朝（本名：中川清）は1925（大正14）年、満州（大連）に生まれ、1930（昭和5）年に一家で帰国し姫路に居住します。幼少時代から落語に興味をもち、作家・寄席文化研究家の正岡容に師事し、のちに4代目桂米團治に入門。3代目桂米朝として、当時不振のどん底にあった上方落語を6代目笑福亭松鶴、5代目桂文枝、3代目桂春團治らとともに復興させました。また、落語の研究にも取り組み、一度減んだ演目を多数復活させています。1961（昭和36）年からは居を尼崎市に移し、1977（昭和52）年から若手落語家の育成のために始めた「尼崎落語勉強会」は今年度で第280回を迎えました。

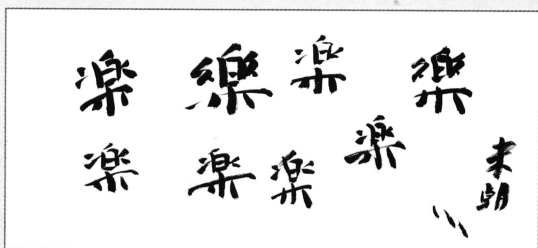
上方だけではなく全国で活躍し、1996（平成8）年に落語として2人目の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定され、2009（平成21）年には演芸界初の文化勲章受章者となりました。上方落語の継承と復興への功績から「上方落語中興の祖」と呼ばれています。桂米朝の生誕百年・没後十年にあたる本年、その噺家の姿を振り返る回顧展を開催します。



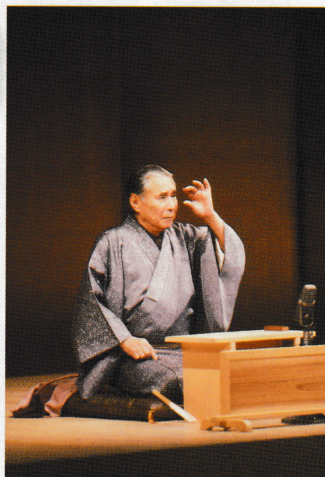
尼崎落語勉強会 2007年8月29日

展示のみどころ

寄席の姿を写した多数の写真・絵画と、ゆかりの品々を展示し、米朝が歩んだ落語の道を辿ります。米朝直筆の書、尼崎市内の刊行物への寄稿文、2023（令和5）年に自宅で発見された新作落語「犬のくやみ」の草稿など、さまざまな資料を展示します。



「楽」字額/動楽亭 ▶ 桂米朝 書



桂米朝 高座姿 成瀬國晴 画

◀ 百年目（1997年1月3日サンケイホール） 宮崎金次郎 撮影

展示解説会

2025年

3月8日 土 / 3月15日 土 14:00~14:30

本展企画にご協力をいただいたお二方に、展示資料にまつわるお話や思い出を語っていただきます。

予約不要 / 入場無料

会場：尼崎市総合文化センター 美術ホール [4階]

解説

兵庫県立考古博物館 学芸員 中川 渉氏（米朝三男）
落語研究家 小澤 紘司氏

関連事業

桂米朝生誕百年・没後十年記念落語会

2025年

入場料：各回一般 2,000円（ホールメイト会員1,800円）自由席
会場：尼崎市総合文化センター アルカイクホール・ミニ [2階]

詳しくはホームページにて www.archaic.or.jp
TEL 06-6487-0910（9:00~19:00 火曜臨時休館あり）



高校生以下
各回 40名様 無料招待

申込方法はホームページにて
www.archaic.or.jp

2月22日 土 11:00 桂 千朝・桂團治郎
14:00 桂 米二・桂團治郎

2月23日 日祝 11:00 桂 米平・桂 米輝
14:00 桂 米左・桂 米輝

2月24日 月振休 11:00 桂 団朝・桂慶治朗
14:00 桂 八十八・桂慶治朗



千朝



米二



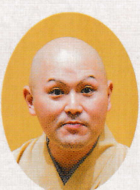
團治郎



米平



米左



米輝



団朝



八十八



慶治朗

各日落語二席のほか、米朝の直系弟子による、米朝にまつわるエピソードをお届けします。

同時開催 【赤羽恒男展 二科会の作家とともに】 2月8日 土 ~ 3月9日 日（火曜休館）美術ホール [5階] 入場料：一般 700円
【第44回 尼崎芸文美術展】 3月15日 土 ~ 3月23日 日 美術ホール [5階] 入場無料